平成２４年度

年　度　計　画

平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日

公立大学法人愛媛県立医療技術大学

公立大学法人愛媛県立医療技術大学平成24年度年度計画

第１　年度計画の期間

平成24年４月１日から平成25年３月31日まで

第２　大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

１　教育に関する目標を達成するためにとるべき措置

（１）目指すべき教育の方向

①　２１年度新カリキュラムにおいて新設した教養教育に係る科目について、授業評価及び教員による評価を検証して充実を図る。

②－１　２４年度から改正した新カリキュラムにより保健師教育を選択制にして、よりきめ細かい教育を実施するとともに、看護師課程のみを履修する学生についても教育内容の充実を図る。

②－２　２３年度のカリキュラム検討結果に基づき、２４年度新カリキュラムにおいて、専門基礎科目と専門科目の開講時期の調整を図り、教育効果のさらなる向上を目指す。

③　時代のニーズに応じて導入した専門科目について、現場の卓越した専門職等を活用するなど、引き続き、教育内容の充実を図る。

④　23年度から開講した「技術特論」について評価を行い、科目の内容・方法を充実するほか、引き続き少人数指導体制、教授方法についての工夫や、物品・環境の整備を図る。

⑤　シラバス、学生生活の手引き、ホームページ、大学案内による周知に加えて、新年度の各学年ガイダンスにおいても、教育理念、教育目標の一層の浸透を図る。

⑥　大学院設置計画案（基本理念・目的、養成する人材像、研究分野構成、教員組織編成、カリキュラム素案）等の検討を行うとともに、文部科学省と相談・協議を行うなど、大学院の設置認可申請に向けた取組みを促進する。

⑦　開設した専攻科での教育の充実に向けて、運営を軌道に乗せる。

⑧　２４年度から改正した新カリキュラムにより保健師教育を選択制にして、よりきめ細かい教育を実施するとともに、看護師課程のみを履修する学生についても教育内容の充実を図る。

（２）教育課程（カリキュラム）の充実・強化

①－１　２１年度カリキュラムについて、昨年度実施した「カリキュラム展開状況の評価」をもとに、教育内容・科目間連携・授業科目の学年進行などを見直し改善する。

①－２　２４年４月入学生より新たなカリキュラム（２４カリ）の運用を開始し、旧カリキュラム、２１年度カリキュラム適用の学生に不利が生じないように適切

な運用を行う。

② ２４年度から改正した新カリキュラムにより保健師教育を選択制にして、よりきめ細かい教育を実施するとともに、看護師課程のみを履修する学生についても教育内容の充実を図る。

③ 新たなカリキュラム（２４カリ）について、カリキュラム検討委員会を中心に、カリキュラム評価の方法を検討し、評価結果に基づいて科目間連携や教育内容の調整などをスタートさせる。

（３）教育方法の改善

（ア）授業方法の改善・工夫

① 医療現場に近い状況で実践的な学習ができるよう、臨床家による特別講義や演習指導の導入、教材や授業方法、演習・実習方法の工夫を行う。

② 既に開講している合同科目に加えて、２４年度４年次生に新たに開講する「医療と法」など、合同講義が望ましい科目は、時間割編成を工夫し、両学科合同開催とする。

③ 昨年度、計画実施した少人数教育の成果を検証し、引き続きゼミ形式の少人数授業、演習・実習での少人数のグループの構成などを通じて、少人数教育を実施する。

④ これまでに開発した教材・器材についての成果を検証し、さらに改善を加えるとともに、引き続き新たな教材開発を行う。

⑤ 新たなカリキュラムについて、専門基礎科目、専門科目の授業内容の科目間連携がスムーズに進行するよう確認を行う。

⑥ 臨地実習施設連絡協議会や領域ごとの施設との実習打ち合わせ・反省会を開催し、指導体制、学習環境の充実を図る。

⑦ 学生の利便性の一層の向上のため、これまで見直してきたシラバスの内容や利用状況について学生に意見を求め、さらに改善を図る。

（イ）教員の教育能力の向上

① 大学内で学習指導法等についてのFD研修を行うとともに、全教員に対して授業改善方法等のSPODプログラムへの参加を呼び掛ける。

② ＦＤ委員会、学生委員会の協力のもと学生参加型のＦＤ研修会を開催する。

③ 学内における新任教員研修を継続するとともに、大学教育の経験の浅い教員を対象にしたSPODの教育プログラムへの参加を促進する。

④ 授業公開時の手続き等の見直しを行い、教員がより公開授業に参加しやすい環境を整える。

⑤ FD/SD 研修を計画的に実施するとともに、さらなる改善を目指して実施後に調査を行い、研修に対する評価及び研修のニーズを把握する。